



知って 中の仕事

DMAT (災害派遣医療チーム)

大規模災害時に現地で医療支援 能登半島地震でも活動

豊岡病院には、大規模な自然災害や事故が発生した際に、被災地に入って医療活動を行うDMAT(災害派遣医療チーム)があります。

DMAT(Disaster Medical Assistance Team)は、大地震や豪雨、航空機・列車事故など多くの傷病者が出る...

チームは医師、看護師、業務調整員(ロジスティクス要員、ロジ)で構成。「兵庫DMAT指定病院」である当院には、現在...

第1次、第2次隊は、金沢市内のMCC(メディカルチェックセンター)で、被害が大きかった...

臨床工学技士の西本剛さんと事務職員の水戸宏紀さんは、業務調整員として...



全体ミーティングの様子



思いもよらない写真が撮れた時に感動

三浦秀樹さん



朝来医療センターの看護師、三浦秀樹さんの「推し活」は写真。三浦さんが撮影した但馬地域の風景は、...

— 普段はどんなものを撮影しますか。 風景やスナップ写真を撮ります。

— 推し活が仕事に与える影響は? ストレスを発散できますし、すがすがしい気分になります。

— 写真は始めたきっかけは。 25年ほど前になりますが、もともとは妻が写真好きで...

— 撮り方はどのように学びましたか。 最初はフルオートモードでしたが、どんどん勉強して...

— 撮影のこだわりは。 1枚1枚丁寧に撮ることを心がけています。

— どこに面白みを感じますか。 思いもよらない良い写真が撮れた時の感動は忘れられません。

— 天橋立上がったシークレット花火。狙ったものではなく、偶然の瞬間を捉えた「思いもよらない」作品です



朝来市にある竹田城跡。麓に住んでいるため、よく撮影に訪れています



天橋立上がったシークレット花火。狙ったものではなく、偶然の瞬間を捉えた「思いもよらない」作品です

Table with recruitment information for Heisei 6 fiscal year. Columns: Recruitment Position, Number of Recruits, Recruitment Period, Exam Date.

公立豊岡病院組合 経営強化プランの公表. Includes QR code and brief description of the plan.

組合公式 Instagram. Includes QR code and social media link.

令和6年 第1回公立豊岡病院組合議会 3月定例会が開催されました. Includes QR code and meeting details.

ほめびたる

但馬の医療を綴る



安心して 命に向き合えるよう 全力でサポートします

4Dエコーを始めました

最新の4Dエコー超音波検査機で検査をします。おなかの中にいる赤ちゃんが立体的に映し出され、顔や体の形をくっきり確認できます。



※23週~26週間に1回のみ4Dエコーで検査します。 ※5月頃より、動画を提供予定です。(USBは有料)

●スタッフ [産婦人科] 医師9人・助産師28人・看護師2人 [小児科(NICU)] 医師6人・助産師2人・看護師14人

高い専門性を持つスタッフが連携しながら臨機応変に対応します

豊岡病院・但馬こうのとり周産期医療センターは、2015年の開設以来、兵庫県北部唯一の周産期医療センターとして...

●2023年度の診療実績 分娩数 653件 母体搬送受け入れ数 15件 帝王切開分娩 86件 (帝王切開率 13.2%)



上田 雅章 (Butsuma Hospital Director)

1 NICUで早産児・低出生体重児や呼吸障害など治療が必要な赤ちゃんの診療を担当



松原 慕慶 (Butsuma Hospital Director)

1 外来では主に胎児スクリーニングエコーを担当。見逃さないよう丁寧に検査します。



田中 美柚 (Obstetrician)

1 妊婦健診や帝王切開の手術、お産、入院中の妊婦さんの診療を担当。



藤川 陽介 (Pediatrician)

1 小児科医師として、NICUでの診療業務や新生児回診に携わっています。



岡田 知子 (Obstetrician)

1 分娩介助や育児指導、乳房ケア、助産師外来、妊婦相談...



中村 由夏 (NICU Nurse)

1 スタッフへの教育支援を担当。赤ちゃんが出すサインを見逃さず...



井口 輝芽加 (Obstetrician)

1 外来業務や母親学級、分娩介助、婦人科疾患の手術などセンター全般の業務に当たっています。

お母さんやご家族が 安心・安全な お産を迎えるために

但馬こうのとり周産期医療センターは、お母さんや赤ちゃん、ご家族が安心・安全なお産を経て育児に臨めるよう、スタッフが一丸となってサポートしています。妊婦健診や母親学級、産後ケアなど妊娠から出産まで、退院後は地域とも連携しながら継続的に支援していきますので、安心してお越しください。

妊娠かな？ と思ったら

月経開始予定日の1週間後から市販の妊娠検査薬でも陽性反応がでます。妊娠かな？と思ったら、まずは外来を受診してください。超音波検査で子宮内の妊娠や胎児の成長を確認します。

当院で分娩を ご希望の方へ

直接来院または電話での受診予約が可能です。受付時間(土日・祝日、年末年始を除く) 外来受診：8:00～11:00 電話受付：8:30～17:00 電話番号：0796-22-6111 ※ただし、当日の受付には制限があり、来院いただいても次回予約をお願いします。再度お越しいただく場合があります。また、予約優先のため待ち時間が長くなることもあります。

他施設で妊婦健診を受け、 当院で分娩を 希望される方へ

当院では里帰り分娩なども受け付けています。初期・中期に受診していただく必要はありませんが、原則妊娠33週までの里帰りを願っています。それまで受診されていた医療機関に紹介予約を取得してもらってから、紹介状を持参の上、当院にお越しください。

妊娠から出産までの流れ

初診の診察 ～12週	尿検査で妊娠反応の確認をします。経膈超音波で子宮内の妊娠であるかを確認します。妊娠初期の段階で、1年以内に子宮がん検診を行っていない方は、がん検診も行います。血液型などの血液検査 感染症の検査(内診でおりものを検査します) 妊娠8～10週頃で出産予定日を決定します。母子手帳と妊婦健診受診票交付
12週～23週 4週間毎健診	毎回：血圧・体重測定・尿検査・胎児超音波検査 妊娠初期 前期母親学級
24週～36週 2週間毎健診	毎回：血圧・体重測定・尿検査・胎児超音波検査 26週頃：貧血・血糖検査 36週頃：感染症の検査(内診でおりものを検査します) 26週～28週 助産師外来 32週～35週 後期母親学級 立ち会い出産講習
37週～39週 1週間毎健診	毎回：血圧・体重測定・尿検査・胎児超音波検査 37週～出産まで毎週：胎児心拍モニタリング(児心音とおなかの張りのみます) 36週～37週：貧血の検査 37週～38週 助産師外来
40週～ 1回～2回健診	毎回：血圧・体重測定・尿検査・胎児超音波検査
41週～	分娩誘発入院
出産	

interview

初めての出産で里帰りを選択 立ち会い出産も経験し 夫婦で感動を共有



豊中市
都野川 廉さん 円花さん

初めての出産で、緊急時の対応も考えて総合病院である豊岡病院での里帰り出産を選択。35週から受診しました。妊婦健診後に妊婦相談があり、助産師さんが予定日を過ぎた場合の対応など先々のことについて細かく説明してくれたので安心できました。立ち会い出産をしましたが、夫婦で赤ちゃんが生まれる経験を共有できたのも良かったです。

地域の 学生さんへ

妊娠・出産・育児に至るまで母子の健康を支えるのが助産師の役割でやりがいのある仕事です。経験や学習を積んで一人前の助産師になれるようサポートします。私たちと一緒に働きませんか!

当センターでできること

人工授精	○
体外受精	×
里帰り出産	○
立ち会い分娩	○
4Dエコー	○
院内助産	○
母子同室	○
母親学級	○
新生児聴覚検査	○
産後ケア	○
無痛分娩	×
乳房フォロー健診	○
早期授乳・乳房ケア	○
パースプランに沿った分娩	○
助産師外来	○
妊婦相談	○
カウンセリング	○

産後ケアについて

Q 産後ケアとは何ですか？

A 当センターの産後ケアは最大7日間利用できる宿泊型ケアです。
・育児に不安がある
・退院後のサポートがない
・赤ちゃんが寝てくれない
このような悩みを抱えているお母さんに休息を取ってもらい、安心して子育てに臨んでもらえるようサポートする事業です。

●利用をお考えの方は、まずは自治体にお問い合わせください。

Q サポート内容には何がありますか？

A ・赤ちゃんの育児に関することへのアドバイス(沐浴、泣いたときの対応、健康チェックのポイント)
・お母さんの身体の回復、心理的サポート
・授乳や搾乳について

Q 対象となる方

A 退院翌日から生後6か月までの母子

安心して子育てに 臨んでもらうために産前・産後 お母さんと赤ちゃんをサポート

アドバンス助産師
絹本 真希子
きぬもと・まきこ



アドバンス助産師
田村 記子
たむら・のりこ

明るくて親身になれる
スタッフがそろっていますので
安心して来てください!

当センターには2024年4月現在、助産に関する高度な知識や技術があると認められた「アドバンス助産師」が15人います。2023年度に認証を受けた田村記子さんと絹本真希子さんに日々の業務や心がけていること、目標などについて話を聞きました。2人は別々のチームに所属していますが、基本的には病棟で働いています。出産後のお母さんの授乳・沐浴の介助などの育児支援、退院後の生活を見据えて地域の保健師、精神面で不安がある場合は精神科のリエゾン看護師(精神看護専門看護師)に情報提供するという支援を行っています。分娩介助や新生児の管理のほか、赤ちゃんがNICUに入院した際のお母さんの精神面・身体面のフォローをします。絹本さんは「お母さんが孤独を感じないように、妊娠や分娩、産後を通して伴走者として寄り添うことを心がけています」と話します。田村さんは、第一子の出産で関わったお母さんが、第二子の出産の際に自分のことを覚えていてくれたり、「ああ言ってもらえてうれしかった!」などと声をかけられたりする

ことに、やりがいを感じています。今後の目標については、「お母さんや赤ちゃん、ご家族が安心して但馬で過ごせるようサポートするだけでなく、女性の一生、1人の女性が生まれて、思春期を経て大人になっていく過程を支えたいです」と田村さん。絹本さんは「分娩に関わることがとても好きなので、体力が持つまでお産に関わりたいです。お母さんやご家族だけでなく、後輩にとっても頼れる助産師になりたいですね」と力を込めました。

アドバンス助産師とは

「アドバンス助産師」は、助産に関する高度な知識や技術があると認められた助産師のことです。第三者機関の一般財団法人日本助産評価機構が、助産師の能力が一定の水準(助産実践能力習熟段階レベルⅢ)に達しているかどうかを評価し、認証します。審査を受けるには、分娩助産100例以上、妊婦健診200例以上などの実績や、お産に関する専門的な研修の受講などの条件を満たす必要があります。



NICU

新生児集中治療室(NICU)では、早産児・低出生体重児、呼吸障害など治療や検査が必要な赤ちゃんを院内外から受け入れています。ベッド数は6床で、新生児用人工呼吸器や

超音波診断装置など最新の機材を備え、新生児専門医をはじめとした専属のスタッフが24時間体制で赤ちゃんの治療・看護にあたっています。

お祝い膳



7月に新メニュー登場!
産後食のメニューは管理栄養士が産後の体力回復を図った栄養バランスを考え、調理師が心を込めて作っています。

困った時はすぐにプロに相談 優しい声かけに感謝

谷村 利香さん

豊岡病院で出産し、退院直後と自宅に戻ってからの2回、産後ケアを利用しました。授乳や抱っこ仕方などを教えてもらいましたが、困った時やしんどい時にすぐに看護師や助産師に相談できるのが良かったです。深夜の授乳や泣き止まずに困っていると「大丈夫ですか!」と声をかけてくれて、食事などの際に預かってもらえるのもありがたかったです。

TOPICS 各病院のお知らせ情報

豊岡病院



がん患者サロン

2024年3月13日、がん患者サロン「チューリップの会」を行い、10名の方にご参加いただきました。がん化学療法看護認定看護師、管理栄養士より、ミニ講座「がん治療と食事」～食べる楽しみが持てるように～を行い、その後、参加者との談話の場を持ちました。穏やかな雰囲気の中、参加者の方からは満足したという声が聞かれました。次回は2024年6月12日に開催予定です。今後専門職からのミニ講座を含め、がん患者サロンを開催したいと考えています。

出石医療センター



電子カルテシステムを導入しました

出石医療センターでは、(医療DXの一環として)豊岡病院との共有にて、2024年3月4日より、電子カルテシステムを導入しました。このシステムにより、診察予約時間の管理や会計業務の円滑化が実現し、待ち時間の短縮につながっています。また、検査結果等の診療情報をリアルタイムで確認できるなど、医師等スタッフの作業効率の向上と業務負担の軽減にも大きく寄与しています。今後とも、IT化の推進に努めてまいります。

朝来医療センター

医師の異動交代について

【入職医師】
内科 整形外科
・清水 健史 ・田中 裕
・新宮 愛美 ・高垣 潤
・加藤 五陸

【退職医師】
内科 整形外科
・山崎海成 ・嶺尾 亮和
・藤田 友佳 ・牟田口 由紀子
・笹井 隆太郎

産婦人科診療枠拡大について

	水	木	金
午前	第1・第3 木原		
午後	第1・第3 木原(予約)	第2・第4 福永	第2 和田

※4月より第1・第3水曜日の午後診を追加します。5月より第2金曜日の午後診を鳥取大学の和田医師が担当します。
□…拡大

日高クリニック

地域に密着した医療を展開

日高医療センターは、2024年4月から日高クリニックとして運営することになり、院長に就任しました。全体的な規模は小さくなりましたが、今後も地域に密着した医療を展開していきます。これまで通り、生活習慣病の予防・改善や慢性腎臓病の治療、透析治療に取り組むほか、2023年夏から開始した訪問診療にも少しずつ力を入れていきます。2024年1月からは、新たに内科と整形外科の午後の診療を始めました。地域のクリニックとのより良い連携の方法を模索しながら、地域の皆さまにとって利便性が高まるよう、診療体制を工夫していきます。



日高クリニック 院長
小松 素明 こまつ・もとあき
2004年 梁瀬病院着任
2007年 和田山医療センター着任
2010年 日高医療センター着任
2024年 日高クリニック院長就任
※梁瀬と和田山が統合して、現在の朝来医療センターとなった